

包括連携協定に基づく 認知症に関する意識調査結果



今日と未来を、つなぐ。



日本生命

自分のサイズで、
生きていい。

令和7年4月
島根県高齢者福祉課
地域包括ケア推進室

1 調査概要

調査目的

- ・ 県民の認知症に対する意識の現状把握
- ・ 調査結果を踏まえた認知症施策の検討

調査時期

令和6年4月1日～令和7年2月28日

調査方法

包括連携協定を結ぶ生命保険2社による調査票の持参・回収により調査

調査対象

明治安田生命・日本生命2社の顧客及び顧客候補

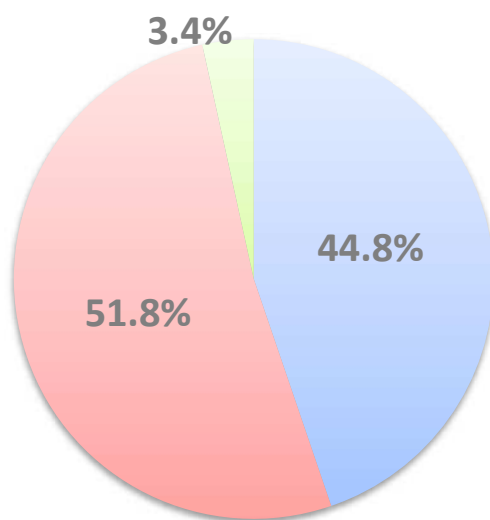
回答者数

2,531名

2 回答者（性別・年代）

性 別

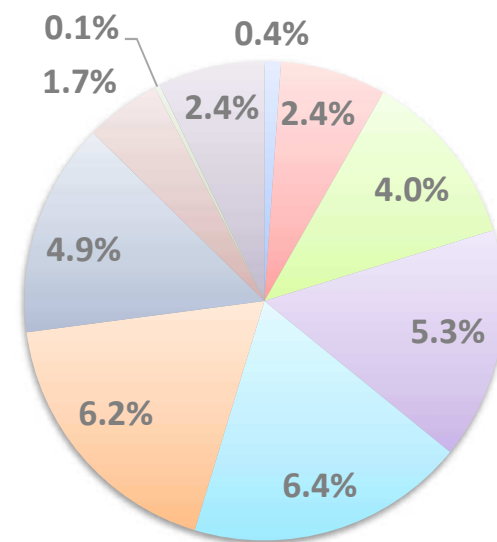
男性：1,133名
女性：1,311名
不明：87名



■ 男 ■ 女 ■ 不明/その他

年 代

10代：28名、20代：181名
30代：303名、40代：396名
50代：476名、60代：461名
70代：366名、80代：129名
90代：9名、不明：182名



■ 10代 ■ 20代 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代
■ 60代 ■ 70代 ■ 80代 ■ 90代 ■ 不明

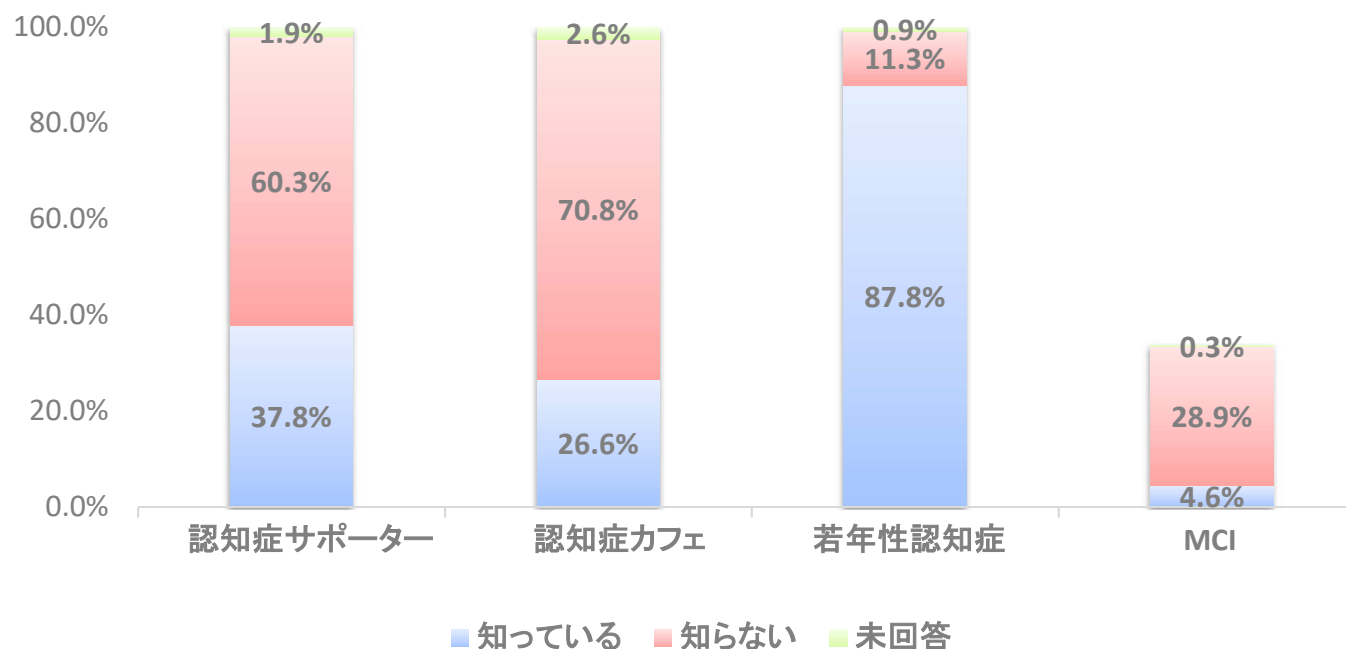
3 調査項目（１）

認知症に関する次の言葉はご存じですか？

「知っている」と答えた割合

（対前年比）

① 認知症サポーター	37.8%(+1.8%)
② 認知症カフェ（オレンジカフェ）	26.6%(-1.1%)
③ 若年性認知症	87.8%(+1.1%)
④ MCI	4.6%(-11.2%)

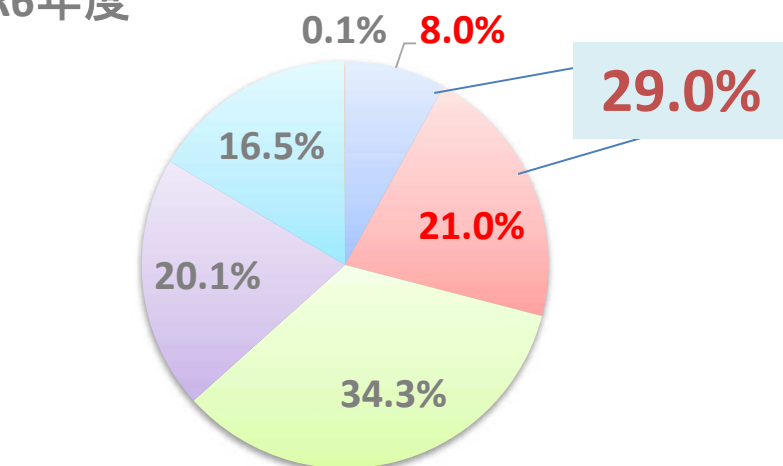


3 調査項目（2－1）

認知症に対して、どんなイメージを持っていますか？

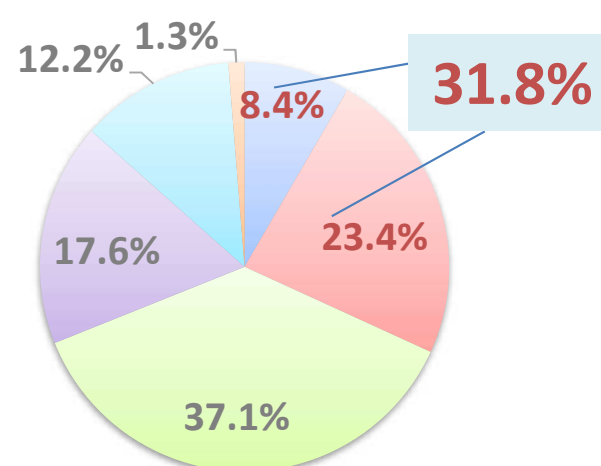
	(対前年比)
<input type="checkbox"/> 自分で工夫しながら、今まで暮らしてきた地域で生活ができる	8.0%(-0.4%)
<input type="checkbox"/> 医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活ができる	21.0%(-2.4%)
<input type="checkbox"/> 身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってサポートが必要となる	34.3%(-2.8%)
<input type="checkbox"/> 周りの人に迷惑をかけ、今まで暮らしてきた地域で生活することが難しくなる	20.1%(+2.5%)
<input type="checkbox"/> 症状が進行していき、何もできなくなってしまう	16.5%(+4.3%)
<input type="checkbox"/> 無回答	0.1%

R6年度



■ 自分で工夫しながら...
 ■ 医療・介護などの...
 ■ 介護施設に入って...
■ 周りの人に迷惑をかけ...
 ■ 症状が進行して...
 ■ 無回答

R5年度



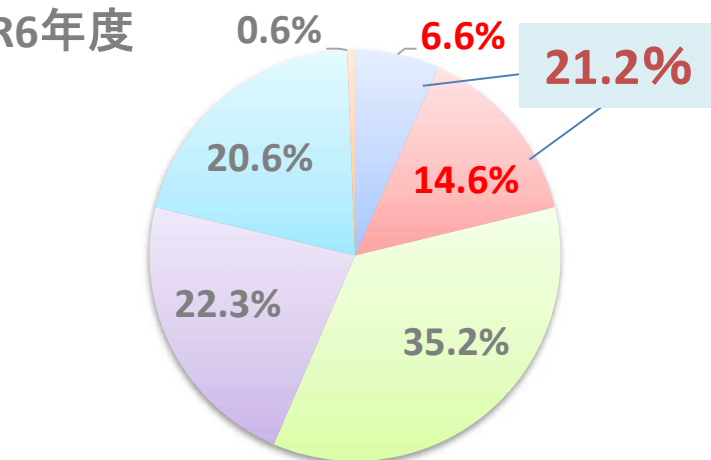
3 調査項目（2－2）

認知症に対して、どんなイメージを持っていますか？

※ 認知症の人と接したことがないと答えた人のみ

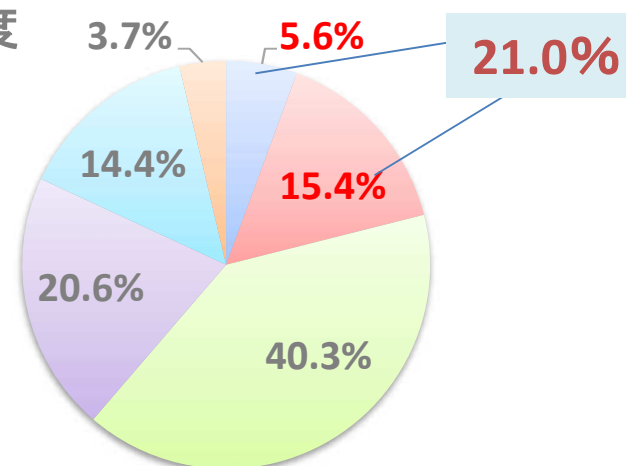
	(対前年比)
<input type="checkbox"/> 自分で工夫しながら、今まで暮らしてきた地域で生活ができる	6.6%(+1.0%)
<input type="checkbox"/> 医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活ができる	14.6%(-0.8%)
<input type="checkbox"/> 身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってサポートが必要となる	35.2%(-5.1%)
<input type="checkbox"/> 周りの人に迷惑をかけ、今まで暮らしてきた地域で生活することが難しくなる	22.3%(+1.7%)
<input type="checkbox"/> 症状が進行していき、何もできなくなってしまう	20.6%(+6.2%)
<input type="checkbox"/> 無回答	0.6%

R6年度



☐ 自分で工夫しながら...
 ☐ 医療・介護などの...
 ☐ 介護施設に入って...
☐ 周りの人に迷惑をかけ...
 ☐ 症状が進行して...
 ☐ 無回答

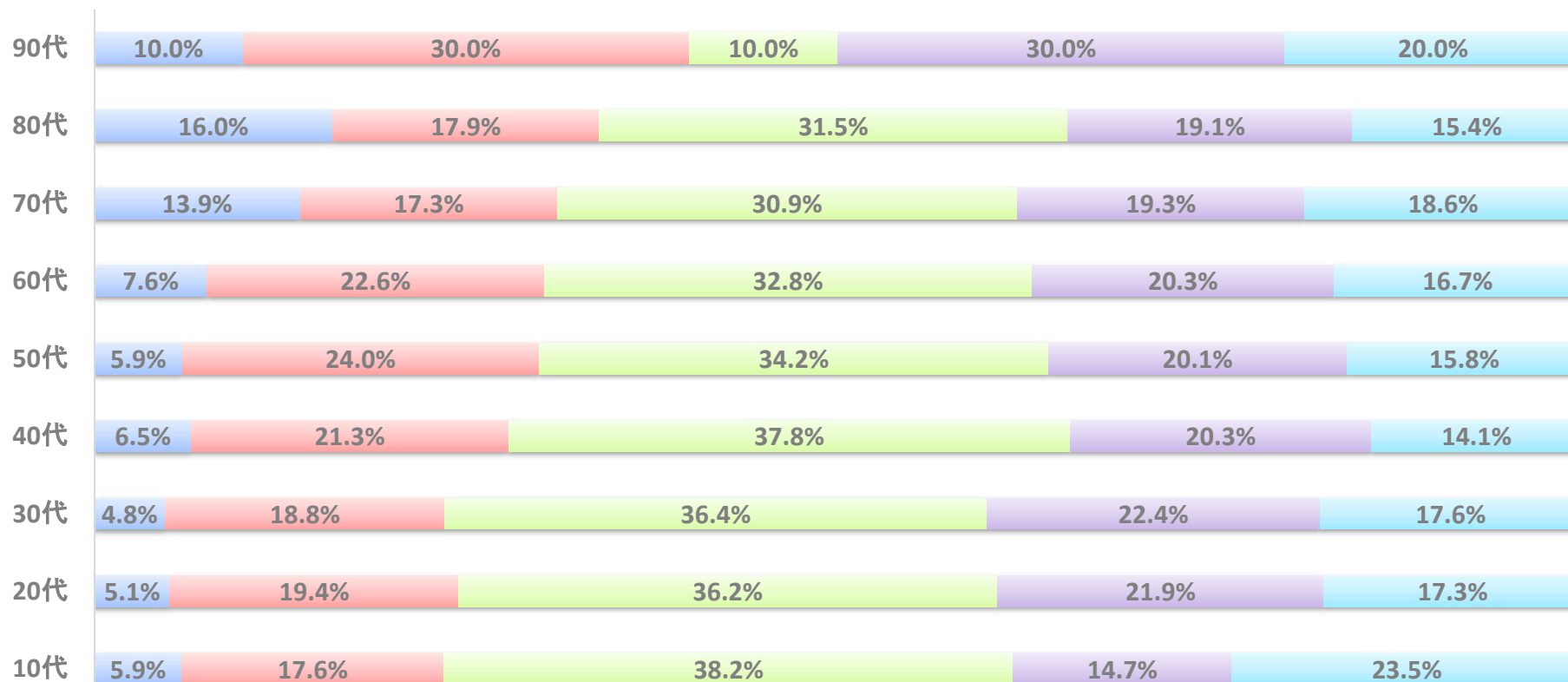
R5年度



3 調査項目（２－３）

認知症に対して、どんなイメージを持っていますか？

認知症に対するイメージ（年代別）



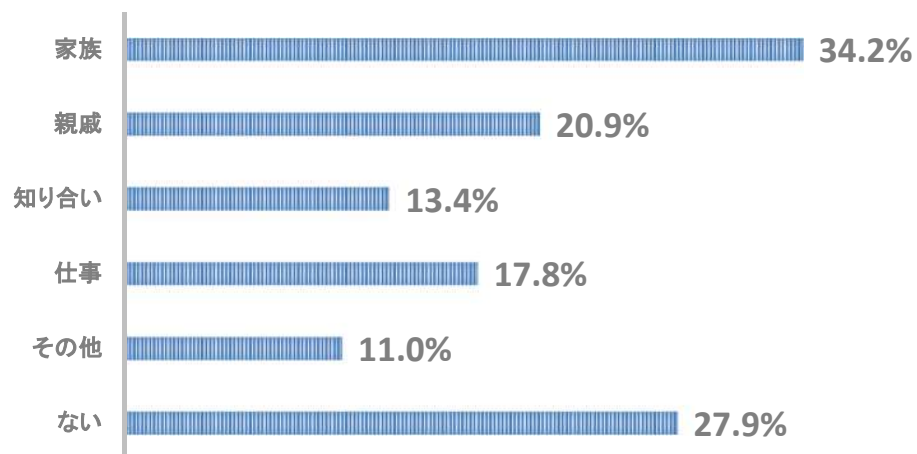
- 自分で工夫しながら、今まで暮らしてきた地域で生活ができる
- 医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活ができる
- 身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってサポートが必要となる
- 周りの人に迷惑をかけ、今まで暮らしてきた地域で生活することが難しくなる
- 症状が進行していき、何もできなくなってしまう

3 調査項目（3）

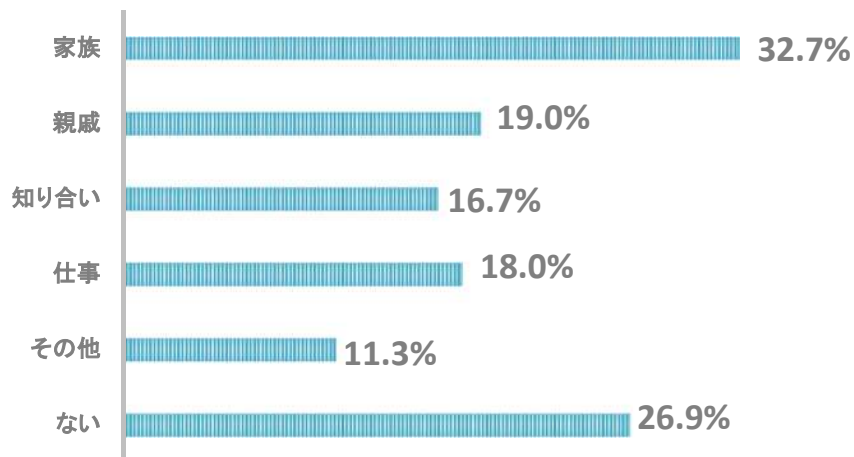
今までに認知症の人と接したことがありますか？ (複数回答可)

	(対前年比)
<input type="checkbox"/> 家族の中に認知症の人がいる(いた)	34.2%(+1.5%)
<input type="checkbox"/> 親戚の中に認知症の人がいる(いた)	20.9%(+1.9%)
<input type="checkbox"/> 知り合いや友人に認知症の人がいる(いた)	13.4%(-3.3%)
<input type="checkbox"/> 仕事を通じて接したことがある	17.8%(-0.2%)
<input type="checkbox"/> その他の場面で接したことがある	11.0%(-0.3%)
<input type="checkbox"/> 接したことがない	27.9%(+1.0%)

R6年度



R5年度

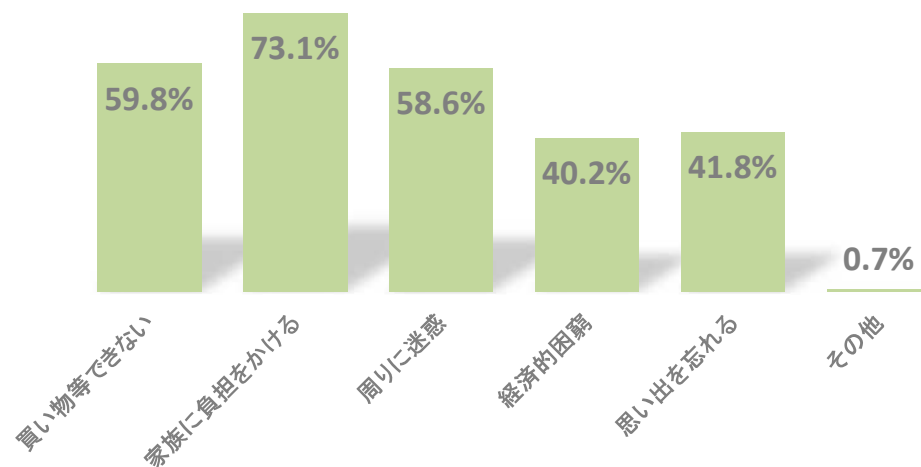


3 調査項目（４）

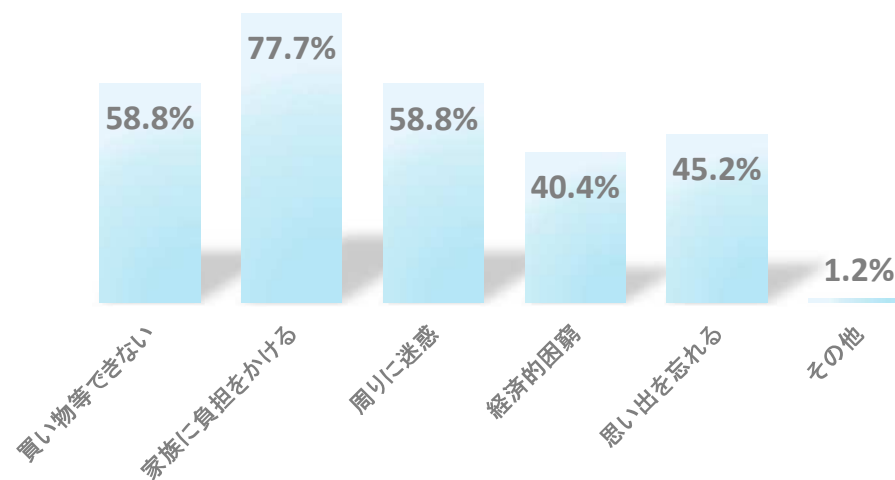
ご自身が認知症になったら、
どのようなことを不安に感じますか？（複数回答可）

	（対前年比）
<input type="checkbox"/> 買い物や車の運転など、これまで出来ていたことができなくなるのではない	59.8%(+1.0%)
<input type="checkbox"/> 家族に身体的・精神的な負担をかけるのではない	73.1%(-4.6%)
<input type="checkbox"/> 家族以外の周りの人に迷惑をかけてしまうのではない	58.6%(-0.2%)
<input type="checkbox"/> 経済的に苦しくなるのではない	40.2%(-0.2%)
<input type="checkbox"/> 家族や、大切な思い出を忘れてしまうのではない	41.8%(-3.4%)
<input type="checkbox"/> その他	0.7%(-0.5%)

R6年度



R5年度

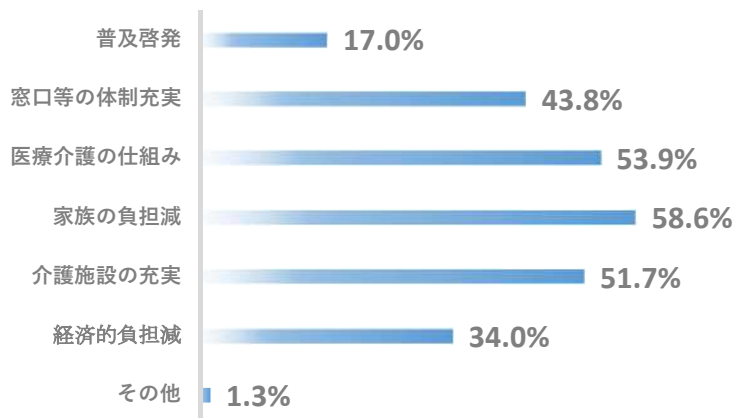


3 調査項目（5）

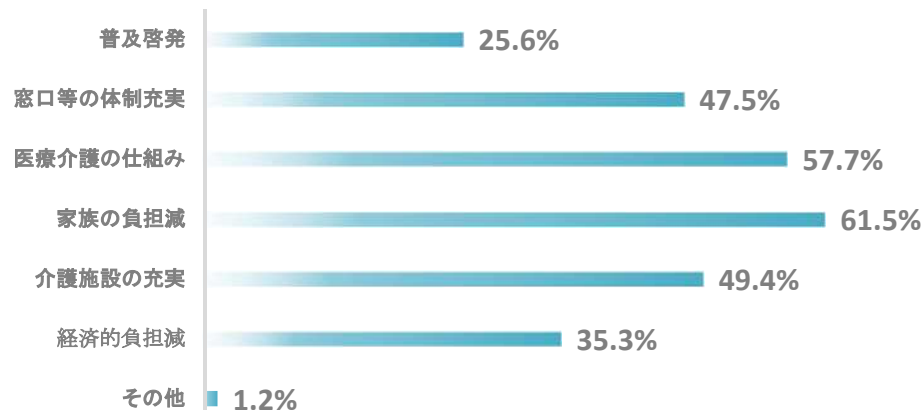
認知症について県や市町村がどのようなことに
重点をおくべきだと思いますか？（複数回答可）

	(対前年比)
<input type="checkbox"/> 普及啓発や情報提供	17.0%(-8.6%)
<input type="checkbox"/> 相談窓口・体制の充実	43.8%(-3.7%)
<input type="checkbox"/> 早い段階から利用できる医療や介護などのしくみづくり	53.9%(-3.8%)
<input type="checkbox"/> 家族の身体的・精神的な負担を減らす取り組み	58.6%(-2.9%)
<input type="checkbox"/> 認知症の人が利用できる介護施設の充実	51.7%(+2.3%)
<input type="checkbox"/> 仕事と介護の両立支援を含めた経済的負担を減らす取組	34.0%(-1.3%)
<input type="checkbox"/> その他	1.3%(+0.1%)

R6年度



R5年度



4 考察（まとめ）

- ◆ 認知症サポーター、認知症カフェ、若年性認知症の認知度は、前年度と比較して、それぞれ**+1.8%**、**-1.1%**、**+1.1%**と前年度と同程度であったが、MCIの認知度は4.6%（対前年比**-11.2%**）と低い。
- ◆ 認知症に対するイメージについては、「今まで暮らしてきた地域で生活ができる」と答えた割合は29.0%であり、前年度（31.8%）と比較して**-2.8%**となった。年代が下がる毎に認知症に対するマイナスイメージが大きい傾向にある。
- ◆ 認知症の人と接したことがないと答えた人に限ると、「今まで暮らしてきた地域で生活ができる」と答えた割合は21.2%と、前年度と同程度であった。

4 考察（まとめ）

- ◆ 「認知症になったら、どんなことが不安か」については、「家族に負担をかける」が最も多く73.1%（対前年比-4.6%）となった。
- ◆ 「県や市町村が重点をおくべきこと」についても、全体として前年度同様の割合で、その中でも「家族の身体的・精神的な負担を減らす取り組み」が最も多く、58.6%（対前年比-2.9%）であった。
- ◆ 本調査は今後も継続し、県民の認知症に対する意識の経年変化を把握する。

4 今後に向けて

地域・医療・介護の連携

- ◆ **相談窓口体制の充実**
(メディアを活用した周知)
- ◆ **予防対策の充実**
(認知症に関連する病気や症状の予防対策の充実)
- ◆ **情報提供**
(市町村担当者はじめ関係者を対象とした研修会等の開催)

認知症に対する意識向上

- ◆ **普及啓発の促進**
(10代・20代の若年層、働き盛りへのアプローチ)
- ◆ **認知症サポーターの養成**
(認知症サポーター養成講座等を通し、認知症を正しく理解する人、認知症患者を支援する人を増やす)